るにつれて南アジア，中近東，ヨーロッパと聴こえます．アフリカは深夜から早朝にかけてです．この周波数帯は南北アメリカ大陸では使用されていません．

● 31メーター・バンド（9400～9905kHz）

後述の25メーター・バンドとともに，国際放送として多く使用される周波数帯で，「国際放送の銀座通り」の別名もあるほどです．中国やインド，南米の一部で国内放送として使用されている以外は，国際放送がひしめき合っています．送信地点から3000km程度に良好な電波が到達します．

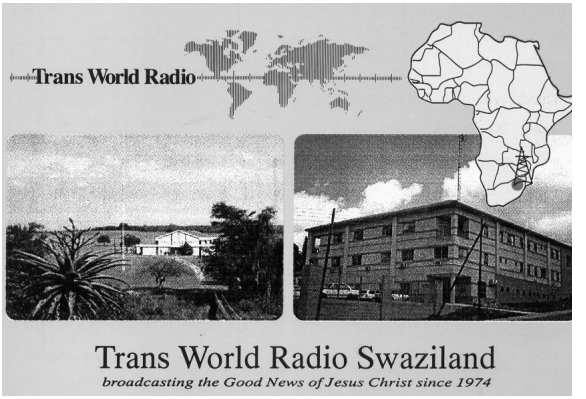
ベトナムの声やインドネシアの声の日本語放送も，41メーター・バンドを使用せずにこの周波数帯を使用しています．

地域ごとの受信状態をみてみると，まずアジア・極東地域の放送は冬場の日中に良好ですが，日没以降は安定しなくなります．夏場は日中に安定せず，日没以降に良くなります．

一方，東南アジアの放送は，冬場の日没直後から零時前後までが良く，日中と深夜には安定しません．夏場の東南アジアの放送は日没から午前2時頃までが安定します．遠距離のアメリカ大陸の放送は夏場の日没以降，深夜までが安定しますが，冬場は安定しません．

この周波数帯はトロピカル・バンドと異なり，夏によく聴こえる周波数帯です．ヨーロッパ方面も夏場の深夜零時以降によく聴こえ，冬場は安定しません．

代表的な放送局としてはラジオ・プラハ（Radio Praha/チェコ共和国）があります．1936（昭和11）年に国際放送を開始し，今年70周年を迎えます．英語放送では「Radio Prague」（ラディオ・プラーグ）とアナウンスされます．



［写真3-7］TWRスワジランドのベリカード
夏場の深夜に遠くの国々の放送電波が聴こえる．写真はアフリカ・スワジランドのTWRスワジランドのベリカード．8月の深夜に31メーター・バンドで受信したもの．

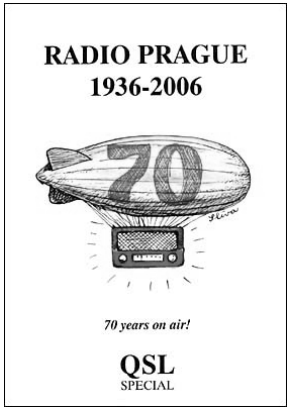
見本

アジア向け英語放送は，日本時間06：00より30分間，9430kHzが使われています．06：00になると，ドボルザークの交響曲「新世界より」の一部分が流れ放送が始まります．

日本ではチェコ共和国というと，モルダウやガラス工芸で有名ですが，それ以外はあまり馴染みがありません．しかし，ラジオ・プラハを通して，同国の文化，芸術，最新のヒット曲まで学ぶことができます．

Webページは，http://www.radio.czで，ニュースや最新のチェコを取り巻く世界情勢など，放送で聴き取れなかったスクリプトを確認することができます．

冬場は31メーター・バンドで放送されますが，夏場は25メーター・バンドで放送されます．最新の放送周波数は同局のWebページで確認してください．



［写真3-8］ラジオ・プラハ①
ラジオ・プラハの放送開始70周年を記念したベリカード．飛行船がラジオを運んでいる様子を象っている．1936年は飛行船の全盛期で，ドイツの大飛行船ヒンデンブルグ号が完成し，フランクフルト-ニューヨーク間の定期便の飛行が計画され，大飛行船時代の到来が期待されていた．しかし，翌，37年に第一便がニューヨークに着陸する直前に大爆発を起こし，乗客・乗員約100名が死亡する大惨事を引き起こし，大飛行船時代の夢は一気に吹き飛んだ．

［写真3-9］ラジオ・プラハ②
1936年にラジオ・プラハがアメリカのリスナーに発行したベリカード．第2次大戦に向け，軍靴の音が大きくなっていたころのプラハの町並み．大飛行船の夢が潰えるとともに，短波放送時代到来の時期でもあった．

見本